



先日、新潟県民にとってとても嬉しいニュースが飛び込んできました。
都市から地方への移住に役立つ情報を仲介する NPO 法人「ふるさと回帰支援センター」が
相談者からアンケートを取り、
「ふるさと暮らし希望ランキング」の 2014 年版を発表しました。

そのなかで、前年まで 12 位だった新潟県が、なんと 5 位に浮上するという快挙。

ちなみに順位は以下のようになっていました。

2014年の「ふるさと暮らし希望地域ランキング」

- 1位 山梨県(前年2位)
- 2位 長野県(前年1位)
- 3位 岡山県(前年3位)
- 4位 福島県(前年4位)
- 5位 新潟県(前年12位)
- 6位 熊本県(前年5位)
- 7位 静岡県(ランキング外)
- 8位 島根県(前年14位)
- 9位 富山県(前年7位)
- 10位 香川県(前年9位)

いかがでしょうか？

新潟の飛躍っぷりがわかりますよね。

県民としてはとても興奮するランキングでした。

この要因として専門家は、支援の厚さやPRの強化が功を奏したと表現しています。

もちろん、支援や広報がうまくいったという手段的なものもありますが、新潟にある魅力がまだまだ隠れていて、

それを知る機会があれば選択肢に上がるということですね。

特に新潟らしさといえば中越、特に長岡や魚沼に眠っていると思いませんか？

(長岡人による最良目はあるとして)

まだまだ隠れた魅力が満載の長岡の情報を、関わるみなさんで広げていくような風土や文化ができれば、

数年後には1位をとってもおかしくないなあとニヤニヤしながら想像しています。

そこに住んでいても気づきづらい、外からしかわからない良さもありますし、外からではわかりにくい、

日常の暮らしの魅力もあります。それらが融合されて伝わっていくといいですね。

これから先、移住先としての新潟、そして長岡が、どのように皆さんの心の中で形作られていくのか、とても楽しみです。

まずは、5位に浮上した新潟が、今はどんなもんなんだと覗きに来ていただいても面白いかもですね。

その時は、新潟県民らしくおもてなしさせていただきます。

写真は長岡市で毎年開催されている「雪しか祭り」です。

「雪を苦にせず、雪を活かす」、「長岡の冬を思いっきり楽しむ」長岡最大の冬まつりです。